

参考資料① 都市関連著作（抄）

1920	石本『建築還元論』『分離派建築会の作品』（7月） 瀧澤「不平録」『同上』 矢田「懐疑より自覚へ」『同上』 山田「吾人は如何なる建築を造るべきか」『同上』 森田「構造派に就いて」『同上』	石本「公会堂」「涙凝れり（納骨堂）」 瀧澤「公開堂」「村役場試案」 矢田「或る美術村の会館」「職工長屋」 山田「公会堂」 森田「屠場」	1916 田山花袋『東京の近郊』 1917 今和次郎「都市改造の根本義」『建築雑誌』 河上肇『貧乏物語』 1918 『都市公論』創刊 小田内通敏『帝都と近郊』 1919 「都市計画法」「市街地建築物法」制定 タウト『アルプス建築』 グロピウス「パウハウス」ワイマール校創立 タトリン「第3インターナショナル記念塔」
1921	堀口「芸術と建築との感想」『分離派建築会の作品第二刊』（10月） 瀧澤「音楽と建築」『同上』 山田「第二回分離派展覧会に於ける私の建築観」『同上』 森田「新宿浅草大火報告」「函館大火報告」『建築雑誌』（12月）	堀口「ある博覧会の試案」 瀧澤「野外音楽堂」 山田「ある電話局の草案」 森田「役所の設計」	1920 生活改善同盟発足 生活改善調査委員会「住宅改善に関する六大綱領」 佐野利器「住の生産方法の改造」『改造』 『新住宅』創刊
1922	平和記念東京博覧会（3月）	堀口、瀧澤、濱岡 博覧会建築担当	1921 後藤新平「東京都市計画構想」 メートル法公布 岩本祿「西陣電話局」 ライト「自由学園明日館」
1923	岡村ほか「創宇社建築会」結成（10月）	石本「大阪貯蓄銀西野田支店」	1922 木檜恕一「家具の設計及製作」 1923 佐藤春夫「都会の憂鬱」
1924	石本『建築譜』（5月） 堀口『現代オランダ建築』（12月） 瀧澤「建築観相」『分離派建築会の作品 第三刊』（12月） 石本「タウト一派の傾向価値」『同上』 濱岡「建築家の立場」『同上』 森田「構造について」『同上』 濱岡「家族四人位の住みよき家」「新しい東京と建築の話」	石本「デパートメントストア」「支店銀行」 瀧澤「野外音楽堂」「公館」 濱岡「小劇場試作」「中央行政庁」 「東京駅東口試案」「停車場案」 矢田「電機製作所」「高層建築のスケッチ」 山田「事務建築」「門司郵便局電話分室」 川喜田「霊楽堂の草案」 濱岡「六華俱樂部」 山田「東京中央電信局」	1924 築地小劇場「カイザー：朝から夜中まで」 村山知義「現在の芸術と未来の芸術」 同潤会設立 今和次郎「復興都市の建築美」『建築新潮』 石原憲治「現代都市の計画」 森谷延雄「室内装飾の基本問題と災後の新芸流」『太陽』 今井兼二「建築家集団の働き」『建築新潮』
1925	大内「パウハウスとグロピウス氏」『文化の基礎』（5月） 大内「住宅の建築について」『文化の基礎』（8月） 濱岡「創宇社の第三回展」『建築新潮』（9月）	岡村「市民会館案」「数寄屋橋」 石本「大阪土井氏貸長屋」 矢田「博物館」	1922 木檜恕一「家具の設計及製作」 1923 佐藤春夫「都会の憂鬱」 1924 築地小劇場「カイザー：朝から夜中まで」 村山知義「現在の芸術と未来の芸術」 同潤会設立 今和次郎「復興都市の建築美」『建築新潮』 石原憲治「現代都市の計画」 森谷延雄「室内装飾の基本問題と災後の新芸流」『太陽』 今井兼二「建築家集団の働き」『建築新潮』
1926	「分離派建築会第五回展覧会作品号」『建築新潮』（3月） 大内「欧州に於ける近代建築の主張」『建築新潮』（6月～） 蔵田「建築論」『アルス建築第講座2』（9月） 堀口「ホテル建築」『同上』（～6巻、1927年1月） 大内『近代の欧州建築』	岡村「市民会館案」「数寄屋橋」 石本「大阪土井氏貸長屋」 矢田「博物館」	1925 都市創作会「都市創作」 東京市政調査会『都市問題』 「都市研究会の設立」『建築雑誌』12月号
1927	蔵田「建築的な構成と建築」『建築新潮』（7月） 川喜田「新しき時代の新しき建築講座」『建築画報』（11月～） 堀口「ホテル建築」『科学画報』（12月） 石本ほか「日本インターナショナル建築会」結成	蔵田「京王閣」 山田「大阪中央電信局」「聖橋」 石本「東京朝日新聞社」 岡村「航空機停留所」「山崎商店」 森田「北野病院」	1925 都市創作会「都市創作」 東京市政調査会『都市問題』 「都市研究会の設立」『建築雑誌』12月号
1928	川喜田「こぼれる音楽—ある音楽的建築論への序曲」『建築画報』 瀧澤「建築論」『アルス建築第講座14』（4月） 「分離派建築会第七回展覧会作品集」『建築新潮』（11月） 森田「「いみたちを・こるぶしえり」その他」『同上』 山田「作者としての言葉」『同上』（衛生的なる建築） 矢田「断片感想録」（市街の姿）、大内「建築漫言」『同上』 蔵田「フランク・ロイド・ライトの作品」『建築新潮』（12月） 石本「最近建築様式論」『アルス建築第講座16』（12月、～17巻） 蔵田ほか「型而工房」結成	蔵田「京王閣」 山田「大阪中央電信局」「聖橋」 石本「東京朝日新聞社」 岡村「航空機停留所」「山崎商店」 森田「北野病院」 石本「白木屋百貨店」 大内「或る水力発電所」 蔵田「工芸博物館と工芸学校の草案」 瀧澤「宝来屋」「婦人応接室」 矢田「競馬場スタンド」「書齋」 川喜田「浅草改造案」「霊楽堂」 堀口「牧田ビル」	1925 都市創作会「都市創作」 東京市政調査会『都市問題』 「都市研究会の設立」『建築雑誌』12月号
1929	川喜田「よい新しい日本住宅を格安に建てるには」『建築画報』 蔵田「椅子とモダーン」『中央美術』（5月） 川喜田編集『建築時代』創刊（9月） 大内『建築と社会』、岡村「合理主義反省の要望」（11月）	大内「大阪阪急ビル」「東京宝塚劇場」	1926 都市美協会設立 椽内吉胤「都市計画」 佐藤武夫訳「近代建築大観」『建築新潮』 村山知義「構成派研究」
1930	川喜田「グループ住宅の基本型」「婦人の友」（11月） 岡村「新建築に於ける唯物主義」「最近美術の動き」 蔵田「室内工芸の尖端を見る」『趣味の近代層』（朝日新聞社編） 堀口『一混泥土住宅図集』	岡村「紡織工場の女工寄宿舎」 矢田「鳥山商店」 蔵田「聖蹟記念館」	1927 浅草・上野間に日本初の地下鉄開通 椽内吉胤「都市芸術の職能」『東京日日新聞』 森谷延雄ら「木の芽舎」結成 『プロレタリア芸術』創刊
1931	蔵田「住居建築の根本の問題—単一住居か集合住居か—」（9月） 川喜田「「生活構成」研究について」『建築画報』（10月）	山口「菊地一雄邸」 堀口「九州気象台」	1928 日本初の普通選挙実施 「ラジオ体操」放送開始 商工省が「工芸指導所」開設 CIAM第1回会議 『国際建築』創刊 「オットー・ワグナー十年祭記念」『建築新潮』6月号 『マルクス主義芸術理論叢書』 全日本無産者芸術連盟（ナップ）『戦旗』創刊 谷口吉郎「分離派批判」『建築新潮』
1932	蔵田「欧州都市の近代相」（3月） 山田「生活最小限の住居 山田守」『建築様式論叢』 蔵田「ジードルンクの新形態」『同上』 川喜田「ウクライナ大衆楽劇劇場の構築」『同上』 蔵田・川喜田ら「トロッキンパウ研究会」結成	山田「鶴見邸」「荻窪郵便局電話事務室」 堀口「塚本邸」「吉川事務所」	1929 『日本インターナショナル建築』創刊 「新興建築講演号」『建築新潮』3月号 『建築写真類聚 新時代の住宅』 石川栄耀「夜の都市美：漫步街の研究」『商店界』 1930 「新興建築大講演会特集号」『建築新潮』1月号 「新興建築特集号」『建築と社会』8月号 三越百貨店大阪店「住宅建築部」（岡田孝男） 岸田日出刀「現代の構成」 1931 『建築工芸アイシーオール』創刊 藤井厚二「鉄筋混泥土の住宅」
1933	山田『ジードルンク』（8月） 川喜田「新しい構造の家—トロッキンパウの家・乾式構造の家」 蔵田「都市の性格と建築」『光画』（12月）、『近代的角度』	山口「小泉八雲記念館」 堀口「中央気象台品川測候所」	1932 「新年特集新興建築大観」『建築画報』1月号 「乾式構造の住宅・鋼管家具」『国際建築』3月号 牧野正己「コンクリート貳論」『国際建築』11月号 唯物論研究会機関誌『唯物論研究』発行
1934	蔵田「日本建築の国際性」『国際建築』（1月） 川喜田「東京小商店巡礼」『商店界』（1月）	山口「日本歯科医学専門学校付属医院」 矢田「新潟米糠株式会社取引所」「高岡電燈」	1933 型而工房機関誌『ラポルト』発行 CIAM第4回会議「アテネ憲章」（機能的都市）
1935	川喜田『構成教育大系』（武井勝雄と共著）	蔵田「等々力住宅区計画」	1934 阿部美樹志「日比谷映画劇場」 1935 都市美協会編『建築の東京』